

＼これまで両立が難しいとされてきた、“通気性”と“保湿性”の両立を確認／
米ぬか繊維「糺-mai-」の保湿試験を実施。
被験者 15 名全員で角層水分量の上昇を確認。
着用終了後も保湿性の持続が確認される結果に。

奈良県の靴下メーカー（株）鈴木靴下は、同社が開発・展開する米ぬか由来の繊維「糺-mai-」について、日本産業皮膚衛生協会（京都）にて保湿性能評価試験を実施いたしました。本試験では、米ぬか成分を練り込んだ生地と、成分を含まない同一条件の比較生地を作成し、28 日間にわたって着用試験を実施しました。結果、米ぬか成分を含む生地において、**被験者 15 名全員の角層水分量が増え、有意な保湿効果が確認**されました。さらに、1 か月間（28 日間）の着用終了後、**2 日後および 4 日後の未着用期間においても、高い角層水分量を維持**する傾向が確認され、**保湿性の持続も確認**されました。一方、**比較品では角層水分量の減少**がみられました。

一般的に、通気性や透湿性を持つ繊維素材において、「保湿性」との両立は難しいとされてきました。そんな中、今回、**通気性を持つ通常衣料向け素材でありながら保湿性が確認されたことは、繊維業界において画期的な発見となりました。**尚、米ぬか繊維はこれまでの素材評価において、消臭、吸湿発熱性、生地の抗酸化性、帯電性・制電性、紫外線遮蔽性、生地の滑らかさなど、多面的な特性も確認されています。

試験概要

項目	内容
試験内容	米ぬか繊維「糺-mai-」の保湿性能評価試験
試験機関	日本産業皮膚衛生協会（京都）
試験期間	2026年3月9日～2026年4月10日（32日間）
被験者数	15名
試験部位	下腿部（すね）
試験品	米ぬか成分練りこみ生地（綿・レーヨン）
比較品	成分なしの生地（綿・レーヨン）
試験条件	糸の太さ・本数・組成・編み条件を統一



※測定は“脱衣直後”ではなく、測定前日までの着用。測定当日は未着用。

※2007年に総合健康開発研究所にて一度目の保湿試験を実施済み。

■会社概要

商号 : 株式会社鈴木靴下
代表者 : 代表取締役 鈴木 和夫
本社所在地 : 〒636-0216 奈良県磯城郡三宅町小柳 23-1
店舗所在地 : 〒636-0216 奈良県磯城郡三宅町小柳 1-1
設立 : 1992年（創業：1958年）
事業内容 : 靴下の製造・販売
資本金 : 1,000万円
受賞歴 :

次代を担う繊維産業企業100選（米ぬか繊維、Flight Stockings）

OMOTENASHI Selection 2019（【歩くぬか袋】締め付けない靴下）

第23回靴下求評展 日本靴下工業組合連合会理事長賞（4層極暖ルームソックス『温フィーユ』）

所属 : 日本産業皮膚衛生協会会員、日本アトピー協会会員、奈良県靴下工業協同組合会員
〈HP〉

<https://www.suzuki-socks.co.jp/>（コーポレートサイト）

<https://www.suzuki-socks.shop/>（オンラインストア本店）



■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社鈴木靴下 代表取締役 鈴木和夫

TEL : 0745-44-0132 / メールアドレス : support@suzuki-socks.co.jp